



共育だより

・1学期の地域学校協働活動のとりくみ～

「自ら考え、自ら判断、決定し、自ら行動する」

中校区コーディネーター

R5.7月

ありがとうございました

●放課後あそび隊

授業でのボランティア学習（1年生）

自発的なボランティア参加（のべ81人参加！）

総合的な学習の時間にあそび隊のボランティア学習を行いました。今年度から小学校も放課後の活動ではなく、授業の枠での参加となり、小中連携の授業となりました。事前準備で小学1・2年生とどんな遊びをするか、活動を通じて自分が意識したいことなどを考え、当日は計画を実践するだけでなく、小学生の気持ちを大事にしながらか臨機応変に関わる姿が見られました。多くの生徒が達成感、自己有用感を感じたことと思います。一中生に身につけてもらいたい力「自ら考え、自ら判断、決定し、自ら行動する力」を磨き、発揮する機会となりました。



三階小 総合あそび隊：「だるまさんの日常」をしました。

一中生全学年が参加可能な部活動のない月曜日に開催する放課後あそび隊は、1学期に3回開催。毎回たくさんの一中ボランティアの参加(81名)があり、小学生も大喜びでした。ありがとうございました！



ありがとうございました。2学期もよろしくお願いします！

●赤ちゃん・お母さんと触れ合おう（2年生）



◇乳幼児と接する機会の少ない中学生が実際に赤ちゃんに触れ合うことで、多くの学びがありました。

生徒の感想：お母さんから「生まれた後の方が大変だけれど、それに加えて楽しいこと、嬉しいことも増えました」と聞いて、私もいつか子どもがほしいなと感じました。/今日赤ちゃんをずっと見ていると自然に笑顔になり、嫌なことを忘れるぐらい気分やよくなりました。/あらためて妊娠出産育児は大変なんだと思いました。家に帰ったらお母さんに今日のことを話し、感謝を伝えようと思いました。/はじめて赤ちゃんに触れ、「ぷにぷに、もちもち」していて可愛かった。/赤ちゃんの心臓の動きが早かった。赤ちゃんは泣くのが仕事？ではなく、赤ちゃんは育つのが仕事、毎日毎日育っていくんだと思う。◇お母さんが夢中に話す姿が印象的でした。中2でこの授業を体験した方が母父となり、2名参加。また赤ちゃんの母として参加した方が、わが子が中2となりボランティアスタッフとして参加。16年目を迎えるこの授業が、世代をつなぎ、支えられていることを実感しました。お母さんの感想：日頃関わる機会の少ない中学生と触れあい、わが子にとってもよい刺激になった。/多くの生徒が笑顔でかわいいと言ってくれ、この地域で孤独な子育てをしなくて大丈夫と思えた。/子育てで、父親は手伝うのではなく、夫婦一緒に子どもを育てるというスタンスが大事だと伝えたい。(父親2名参加)/思春期で反応はうすい印象だったが、中学生の感想文を読み、伝えたかったこと、大切なことに気づいてくれていて嬉しかった。

夏休み子どもニュースはこちらから。

まちの縁側や図書館にも行ってみてね。

中学生の参加も大歓迎です！

